インフォメーション　事務局からのお知らせです

■2001年度活動計画について

前回お送りいたしました『Radix　News Letter』5号（2001年活動計画号）についての会員のみなさまのご承認等のご意見を頂戴しております。ご返送FAXの締めきりは7月19日でした。引続きお待ちしておりますので、ぜひご返送をお願いいたします。（8月22日まで）

■名簿作成進行中！！

Radixの会会員名簿作成のための『アンケート』をご返送くださった会員さま、ありがとうございます！会員全員のご回答を目標としつつ2001年中の名簿完成を目指し作業をすすめております。
アンケートフォーマットをメールにてお送り出来ますので未回答の会員さまのお問合せをお待ちしております。

問合せ先　事務局　島田・神田

■農業技術体系2001版CD－ROM

農文協『農業技術体系2000C』の追録2001年度版を更新しました。CD－ROM版は『農業技術体系』全57冊と『病害虫防除資材』全11冊を収めています。調べものなどありましたら、お気軽にお問い合せください。

■2001年第4回小祝塾

農産・畜産会員の皆さまへ。2001年小祝塾後期は『実践編』として、畜産と高原野菜の生産が盛んな北軽井沢を舞台に、地域有畜複合という環境保全を視野に取り組んでいます。前回も98名という大勢の参加を頂きました。第4回は9月14、15日開催です。（今会報P8も併せてご覧ください）ぜひたくさんのご参加と、畜産会員のみなさまのご参加もお待ちしております。　**問い合せ先　事務局　鈴木**

Radix Milestone

・・・活動短報・・・

2001年6月

1	畜産部会放牧豚編打合せ
1・2	2001年作物別技術交流集会れんこん編（茨城）
6	畜産部会短角牛編打合せ
8	食品部会　打合せ
15・16	2001年作物別技術交流集会メロン編（茨城）
18	毒劇物一般販売業登録申請（Dr.ソイル関連）
19	有機資材調査（河合肥料：静岡）
20	女子栄養大学辻村卓先生訪問（ほ場試験関連）
20	食品部会・養殖研究会準備会
27	港区保健所より事務所確認（毒劇物取扱い関連）
27	農産部会・西日本ブロック準備打合せ（高知・京都）
27	畜産部会　自主基準作成準備（岩手）
30	畜産部会　自主基準作成準備（宮崎）

2001年7月

2	Radix News Letter　4号（創刊号）、5号（活動報告号）発行
2	毒劇物一般販売業登録認可（Dr.ソイル関連）
6	第1回養殖研究集会（食品部会）開催（東京　虎ノ門）
6	第105回ビタミンC研究委員会報告会出席（東京　茗荷谷）
10	若い衆　取材（和歌山）
11	若い衆　取材（京都）
12	Radideとの打合せ及び会長インタビュー（東京　虎ノ門）
13	会費集計関連業務打合せ
17	第2回衛生管理技術講習会打合せ
18	農産部会　ほ場試験打合せ（栃木）
26	農産部会　西日本ブロック準備会（兵庫　神戸）
27	第2回衛生管理技術講習会（大阪）
27・28	2001年作物別技術交流集会お茶編（静岡）
29・30	2001年作物別技術交流集会にんじん編（北海道）
30	坂東氏ほ場試験調査（北海道）

エコキッチン倶楽部が紹介されました

エコキッチン倶楽部 ECO KITCHEN CLUB

Radix News Letter 4号（創刊号）でもご紹介しました、らでぃっしゅぼーやの取り組み「エコキッチン倶楽部」が、新聞紙上でも紹介されました。

◆ホームページ
http://www.radishbo-ya.co.jp/ecokichenclub/index.html

らでぃっしゅぼーやの「エコキッチン倶楽部」で会員さんが使うリサイクラー。生ごみを高温で滅菌乾燥、減容化するすぐれもの。

顧客の生ごみを回収、肥料に

契約農家が活用

宅配業者　リサイクル事業スタート

自然食品の宅配業大手らでぃっしゅぼーや（東京都港区）は三日、家庭の生ごみを肥料にするリサイクル事業をスタートさせた。同社の顧客が出す生ごみを回収し、肥料に変え、それを使った提携農家の農産物を再び消費者に宅配するという。

国内の生ごみ排出量の半分は家庭から出る。その処理を担う各自治体は、回収や焼却、埋め立て処理システムをつくり上げる計画だ。

配のトラックの帰り荷に載せ、茨城県小栗栖町の肥料工場へ。生ごみは発酵、塩漬けや野菜や顧客に届けるなど、資源として活用しよう。

特殊技術で油分は分解、塩分は中和し、重金属や洗剤に手を焼いてきた「生ごみ」の汚入もあり得るため、安全性も検査する。

完成した肥料は、家庭用生ごみ処理器は、既に三百世帯が購入済みで、このうち関東・中部の百五十世帯あゆみの会本部、桜川村（百二十人）が事業に参加。月間の肥料の農家が使い、生産量は三百～三百五十キロを見込む。参加世帯を五百世帯まで増やすのが目標だ。

客を持つ同社は、家庭用の宅配業大手。全国に六万三千世帯の顧客を持つ同社は、家庭用

100度の温度で生ごみを滅菌、乾燥させる家庭用生ごみ処理器。さらさらになった生ごみはこの後、加工し肥料になる

エコキッチン倶楽部の活動を報じる日本農業新聞（2001年7月3日）▶

Information

後記

猛暑。関東地方は雨なしの日照りが続き、事務所のある虎ノ門界隈は緑なく逃げ場はクーラーの効いたビルの中とあっては私事冷房病と夏バテで、ただでさえ軽～い（！）私の体重も心配、自宅の菜園もきゅうりが成り止み干からびそうだ。思いを馳せてはかん水のできない立地の作物も心配。農作物の安定生産の難しさと、厳しい市況。これを乗り切るのは並大抵ではなく、虹のかかる夕立が次の日の暑さを乗り切る希望であるように、生産活動についても、生産者、メーカーさんがほっとひと息つけるような清涼剤はないものかと日々思う。技術、生産性の向上は言うまでもなし。その上で作る人みんなの元気が出る交流を進めていく。元気の出る何かを見出す……。みんなでどんどん交流しましょう！　（竹内）

Radix News Letter

6号2001年8月10日発行
らでぃっしゅぼーや環境保全型生産者団体
Radixの会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-21虎ノ門33森ビル別館2F
TEL　03-5470-7652　FAX　03-5470-7634
E-MAIL　office@radix-jp.org

Radixの会についてのお問い合わせは事務局までお願いいたします。

次号は9月上旬発行の予定です

この会報は大豆油インキを使用しています。

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています